

# 焼却施設解体時のダイオキシン飛散防止対策 協定書の締結でいよいよ解体工事開始

住民主導による画期的な協定の締結へ

新橋地区にある廃棄物焼却炉解体時のダイオキシン類汚染防止対策については、ダイオキシン対策一泉区から全国へ発信！で既にお知らせしたように、「横浜市生活環境の保全等に関する条例」の成立により、市の責務で周辺住民の安全のため、解体工事中にリアルタイムで監視を行う画期的な内容が導入されました。

しかし、実際の解体工事の現場においては、事業者・解体業者と住民間で協定が不可欠であり、「連合自治会」「新橋環境を守る会」の方々の主導によりこの度、協定書が締結されました。げんなみ正保市議もこの活動に協力させていただきました。このように、地域の方々の主導により協定が結ばれることは、非常に画期的なことであり、全国に先駆けるモデルケースとして注目が集まっています。



山下環境副大臣に、環境対策について要請する地元元区の新橋連合自治会代表と新橋環境を守る会代表。「地域の声を国政に」と動いたげんなみ市議（左手前）



解体が始まる廃棄物焼却施設

平成15年度12月補正、1億1700万円の予算を計上!

## 旧新橋処分場浄化施設(仮称) 工事開始!

水質汚染の解消へ

廃水処理施設の設置工事はじまる

旧新橋処分場近くを流れる阿久和川に注ぐ排水管からPCB(ポリ塩化ビフェニル)が検出された問題に関して、これまで約4年間に亘って、「連合自治会」「新橋環境を守る会」が中心となり市に改善を求めてまいりました。

げんなみ正保市議は、横浜市会においてこの問題を何度も取り上げてまいりましたが、このたび、平成15年12月の定例議会において、補正予算として1億1700万円が計上され、本年より廃水処理施設の設置工事が始まりました。阿久和川には地域の人たちに親しまれている「まほろば親水公園」があり、これで子供たちも安心して遊べると、長年に亘ってこの地域の環境問題に取り組んできた「新橋連合自治会」や「新橋環境を守る会」、そして地域住民の皆様から喜びの音が上がっています。



排水管の検査に立ち会うげんなみ正保市議



着々と工事が進む浄化施設(H16.5)